

2013年3月期 第3四半期

(2012年4月1日～2012年12月31日)

決算補足資料

2013年2月5日
株式会社電通国際情報サービス

(1) 2013年3月期 第3四半期連結業績

単位:百万円

	2013年3月期 第3四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
売上高	49,360	43,844	+5,516	+12.6%
売上総利益	15,213	13,168	+2,045	+15.5%
売上総利益率	30.8%	30.0%	+0.8pts	—
販売費及び一般管理費	13,674	13,199	+475	+3.6%
営業損益	1,539	▲31	+1,570	—
営業利益率	3.1%	▲0.1%	+3.2pts	—
営業外収益	192	217	▲25	▲11.5%
営業外費用	39	64	▲25	▲39.1%
経常利益	1,692	122	+1,570	+1,286.9%
特別利益	—	106	▲106	—
特別損失	79	—	+79	—
四半期純利益	996	30	+966	+3,220.0%

【売上】 主として金融ソリューションとコミュニケーションITの拡大により+12.6%増収

【利益】 増収ならびに売上総利益率改善(不採算案件の抑制が主要因)により売上総利益増益
販管費の増加を吸収し、営業利益/経常利益/四半期純利益ともに前年同期比増益

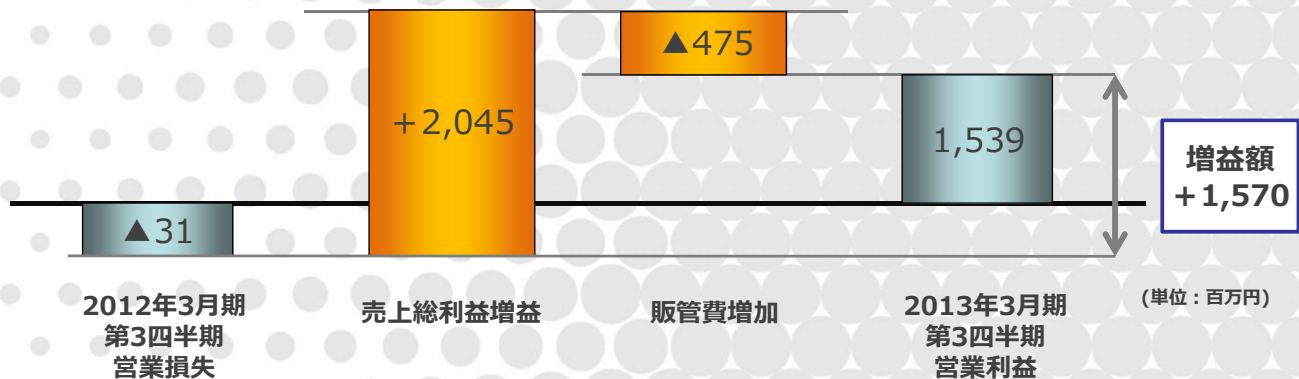
(2) 連結営業利益の増益要因

売上総利益
+ 20.4億円増益
の主な要因

- ・増収効果（+ 約16.5億円）
- ・不採算案件抑制効果（+ 4.6億円 ※前年同期の不採算案件額）

販管費
+ 4.7億円増加
の主な要因

- ・販売促進費（+ 2.0億円）
- ・研究開発費（+ 1.0億円）等



(3) 事業セグメント別 連結売上高

単位: 百万円

事業セグメント	2013年3月期 第3四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
金融ソリューション	14,299	12,667	+1,632	+12.9%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	9,222	9,471	▲249	▲2.6%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	13,697	13,465	+232	+1.7%
コミュニケーションIT	12,140	8,239	+3,901	+47.3%
合計	49,360	43,844	+5,516	+12.6%

金融	メガバンク/地域金融機関/ネット系金融機関/リース会社向けの拡大とiSiDフェアネスの新規連結効果
ビジネス系	人事管理「POSITIVE」が好調も、会計分野・基幹システム分野が伸び悩み
エンジニアリング系	構想設計分野のコンサルティングとソフトウェア製品「iQUAVIS」が自動車業界向けを中心に拡大
コミュニケーションIT	電通の基幹システム構築ならびに電通との協業ビジネスが拡大

(4) サービス品目別 連結売上高

単位:百万円

サービス品目	2013年3月期 第3四半期	前年同期比		
		前年同期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,899	1,441	+458	+31.8%
受託システム開発	16,880	13,423	+3,457	+25.8%
ソフトウェア製品	5,753	5,215	+538	+10.3%
ソフトウェア商品	15,655	15,173	+482	+3.2%
アウトソーシング・運用保守サービス	4,490	3,975	+515	+13.0%
情報機器販売・その他	4,682	4,615	+67	+1.5%
合計	49,360	43,844	+5,516	+12.6%

コンサルティング	自動車業界向けを中心に構想設計、解析、実験等の分野が拡大
受託システム開発	電通、およびメガバンク/地域金融機関/ネット系金融機関/リース会社向けが拡大
ソフトウェア製品	人事管理「POSITIVE」、構想設計ソリューション「iQUAVIS」が拡大
ソフトウェア商品	SFDC社Salesforceライセンスが拡大
アウトソーシング・運用保守	ISIDフェアネスの新規連結効果
情報機器販売・その他	電通向けが堅調

(5) 連結貸借対照表

単位:百万円

	2013年3月期 第3四半期末	2012年3月期末 (2012/3/31)	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	33,288	33,716	▲428	売上債権の減少(▲2,893百万円) たな卸資産の増加(+1,390百万円) 有価証券の増加(+999百万円)
固定資産	19,316	18,579	+737	投資有価証券の増加(+593百万円)
資産合計	52,605	52,295	+310	
流動負債	14,999	15,001	▲2	買掛債務の減少(▲954百万円) 受注損失引当金の減少(▲378百万円) 前受金の増加(+1,165百万円)
固定負債	2,555	3,012	▲457	リース債務の減少(▲347百万円)
負債合計	17,555	18,013	▲458	
純資産合計	35,049	34,281	+767	四半期純利益の計上(+996百万円) 剰余金の配当(▲651百万円) その他の包括利益累計額の増加(+144百万円)
負債純資産合計	52,605	52,295	+310	

(6) 受注・受注残

(単位:百万円)

事業セグメント別	受注高		受注残高	
	2013年3月期 第3四半期	前年同期比	2013年3月期 第3四半期	前年同期比
金融ソリューション	11,807	+5.9%	3,619	+11.8%
エンタープライズソリューション・ビジネス系	4,513	▲24.0%	1,539	▲28.4%
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	2,640	+6.4%	630	+9.0%
コミュニケーションIT	11,045	+165.2%	5,173	+336.9%
合計	30,007	+26.4%	10,963	+53.4%

サービス品目別	受注高		受注残高	
	2013年3月期 第3四半期	前年同期比	2013年3月期 第3四半期	前年同期比
受託システム開発	21,681	+40.6%	8,265	+96.6%
ソフトウェア製品アドオン開発	3,094	+14.1%	1,421	+18.7%
ソフトウェア商品アドオン開発	5,231	▲6.7%	1,276	▲26.9%
合計	30,007	+26.4%	10,963	+53.4%

受注・受注残は、当社のサービス品目のうち、受託システム開発、ソフトウェア製品/商品のアドオン開発のみが対象です。コンサルティングサービス、ソフトウェア製品・商品のライセンス、ライセンス保守、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器等は含まれておりません。

業績予想

注) この資料に記載しております業績の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、予想に内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の業績は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。

◆ 2013年3月期 連結業績予想

✓ 2012年5月11日に発表した業績予想から修正はありません。

(百万円)

	2013年3月期 通期業績予想	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率
売上高	67,700	63,869	+3,831	+6.0%
営業利益	3,380	2,349	+1,031	+43.9%
営業利益率	5.0%	3.7%	+1.3pts	—
経常利益	3,450	2,496	+954	+38.2%
当期純利益	2,100	1,516	+584	+38.5%

◆ 2013年3月期 連結業績予想

◆事業セグメント別

(単位:百万円)

	2013.3期 業績予想	前期との比較		
		前期	増減額	増減率
金融ソリューション	19,035	17,722	+1,313	+7.4%
エンタープライズ ソリューション・ ビジネス系	14,597	14,063	+534	+3.8%
エンタープライズ ソリューション・ エンジニアリング系	19,852	19,572	+280	+1.4%
コミュニケーションIT	14,214	12,511	+1,703	+13.6%
合計	67,700	63,869	+3,831	+6.0%

◆サービス品目別

(単位:百万円)

	2013.3期 業績予想	前期との比較		
		前期	増減額	増減率
コンサルティング サービス	2,580	2,711	▲131	▲4.8%
受託システム開発	22,189	18,858	+3,331	+17.7%
ソフトウェア製品	9,136	7,965	+1,171	+14.7%
ソフトウェア商品	22,382	22,002	+380	+1.7%
アウトソーシング・ 運用保守サービス	5,862	5,570	+292	+5.2%
情報機器販売・ その他	5,549	6,760	▲1,211	▲17.9%
合計	67,700	63,869	+3,831	+6.0%

主要プレスリリース <2012年10月～2013年1月>

金融ソリューションセグメント

- | | |
|-------|---|
| 10/10 | 国際金融会議「Sibos」に出展 ～アジア圏の金融機関向けグローバル・ビジネスを強化～ |
| 10/19 | ISiDと電通イーマーケティングワン、地域金融機関の ネットチャネル強化に向けたウェブサイト戦略コンサルティングサービスを開始 |
| 12/3 | 「金融イノベーションビジネスカンファレンスFIBC2013」登壇者の公募を開始 |
| 1/18 | 「Round Table 金融エグゼクティブフォーラム」を開催 |
| 2/1 | 「金融イノベーションビジネスカンファレンスFIBC2013」登壇企業12社が決定 |

エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 10/23 | 実物大3次元映像によるバーチャルリアリティ検証システムの提供開始 |
|-------|----------------------------------|

コミュニケーションITセグメント

- | | |
|------|---------------------|
| 10/2 | 街のITプラットフォーム事業に本格参入 |
|------|---------------------|

クラウド・オープンイノベーション研究所・他

- | | |
|-------|--|
| 10/31 | 台北に拠点設立 |
| 10/31 | ISiDとOKI、製品含有化学物質情報システムをクラウドで提供 |
| 12/10 | ISiDとクウジツ、東京都市大学と共同でミラーサイネージと笑顔認識技術を用いたチャリティイベントを開催 |
| 12/18 | ANAのアイデア・マネジメント基盤にSNS「Spigit」を提供 |
| 1/7 | ISiD新年仕事始式で釜井社長があいさつ |
| 1/11 | インドネシアに拠点設立、タイの事業再開 |
| 1/16 | “街とツナガルモビリティ”のコンセプトを発表 |
| 1/22 | 東京国立博物館、ISiD、クウジツ、ARと高精度測位技術を用いた博物館ガイド「トーハクナビ」最新版を公開 |
| 1/29 | サンフランシスコに研究開発拠点を設立 |